

「火の用心だより」

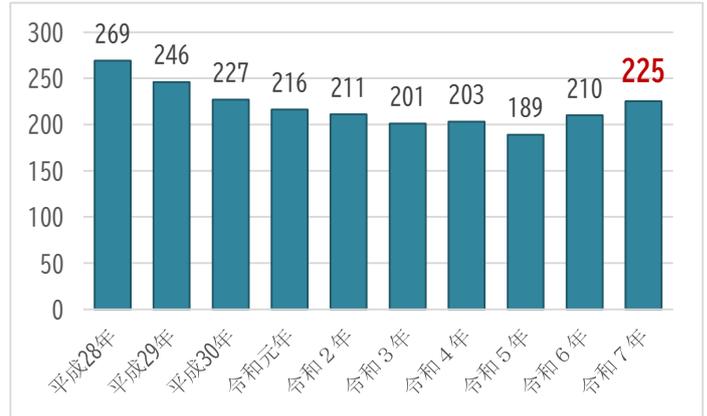
第125号(令和7年8月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

令和7年上半期の火災発生状況(速報値)

札幌市内における令和7年上半期の火災件数は225件で、前年比15件の増加となりました。

また、火災による死傷者を前年と比較すると、死者は6名で6名の減、負傷者は54名で8名の増となっています。



【火災種別・死傷者の発生状況】

	火災種別											死者	負傷者
	総数	爆発	建物				林野	車両	その他	野火			
			全焼	半焼	部分焼	ぼや							
令和7年	225	0	163	7	10	38	108	0	23	39	10	6	54
令和6年	210	1	144	8	10	40	86	0	31	35	7	12	46
前年増減	15	▲1	19	▲1	0	▲2	22	0	▲8	4	3	▲6	8

出火原因

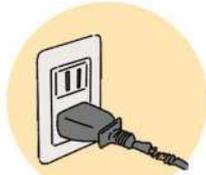
出火原因は「電気関係」が最も多く、次いで、「たばこ」、「放火」、「こんろ」、「ストーブ」となっています。

電気関係では電気機器からの出火が多く見受けられ、モバイルバッテリーなどの充電式電池は10年間で3倍に増加しています。

	電気関係	たばこ	放火	こんろ	ストーブ
令和7年	48	33	30	29	17
令和6年	44	25	25	27	16
前年増減	4	8	5	2	1

電気火災防止について

電気関係の火災で多いのが電気コード、コンセント、プラグからの出火です。下のイラストのような使い方をしていませんか？毎日の生活に欠かせない電気製品ですので、今一度身の回りを確認し、安全に使用しましょう。



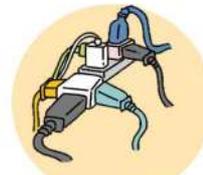
傷んだまま使用しない



コードを束ねない



プラグにほこりを溜めない



タコ足配線をしない



重いものを乗せない

充電式電池からの出火

近年では様々な電気製品に充電式電池が使われています。その中でも、リチウムイオン電池はスマートフォンやモバイルバッテリー、パソコンなどにも使用されています。出火事例とともに火災予防のポイントも確認しましょう。



👉 ごみ収集車の荷箱内でモバイルバッテリーが押しつぶされ、バッテリー内部が短絡し出火。

電動工具用のメーカー純正品ではない、バッテリーを充電していたところ、過充電となり出火。👉



火災予防のポイント

- ❑ 製品故障の原因となるので、分解したり、強い衝撃を与えない。
- ❑ 充電器やバッテリーはメーカー指定のものを使用する。
- ❑ 製品の膨張や、異音、異臭がするなどの異常が生じた物は、使用を取りやめる。

回収協力店や小型家電の無料回収等の詳細は、札幌市環境局のホームページをご覧ください。

札幌市 リチウムイオン電池 回収 🔍 検索

https://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/plastic_separate.html

廃棄方法

取り外したリチウムイオン電池 または モバイルバッテリー本体		取り外せないリチウムイオン電池 または リチウムイオン電池を含む家電製品	
破損・膨張・液漏れあり、 リサイクルマークなし	左記以外	加熱式タバコ 電子タバコ	左記以外
清掃事務所、地区リサイクルセンター、一部の回収協力店などに持込み	清掃事務所、地区リサイクルセンター、回収協力店などに持込み	燃やせないゴミの日に燃やせないゴミとは別の透明・半透明の袋に入れて回収	小型家電の無料回収か燃やせないゴミで回収

市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行:札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目
☎011-215-2040



SAPPORO

02-N0625-439
R7-2-333